

令和2年度
事業報告書
決算書

一般社団法人 静岡県発明協会

【第1号議案】

令和2年度事業報告

会員数 令和2年4月 1日現在 法人会員83 個人会員57 賛助会員6 計146
 令和3年3月31日現在 法人会員71 個人会員54 賛助会員6 計131

1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

①全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、そのご趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。本県からは2社2件を推薦した。

審査の結果、三菱電機株式会社の「高周波誘導加熱を利用した業務用エアコン」の発明が日本経済団体連合会会長賞を受賞した。表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止された。

②関東地方発明表彰

本発明表彰は、地方において優秀な発明と認められるとともに、その実施効果が高く、地域産業の向上に寄与された方々の功績を顕彰するものである。本年度の表彰受賞総数は158件522名で、うち本県関係は下記の一覧のとおり13件37名を推薦した。

表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で開催された。

令和2年度関東地方発明表彰式

日 時 令和2年11月12日（木）

会 場 新横浜プリンスホテル

令和2年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受賞名	発明の名称	受賞者名	会社名
静岡県知事賞	無線タグ読取装置	室伏 信男	東芝テック株式会社
		喜地 保仁	
		國枝 重利	三菱電機メカトロニクスソフトウェア株式会社
静岡県発明協会会長賞	操作表示部を備えた冷蔵庫	横尾 広明	三菱電機株式会社
		前田 剛	
		鈴木 和貴	
		寛 仁志	
静岡県発明協会会長賞	半導体保護膜用の低温硬化感光性樹脂組成物	佐々木隆弘	旭化成株式会社
		李 軍	中国常州強力電子新材料股份有限公司
発明奨励賞	リードフラットパッケージICの半田付方法	三浦 剛	三菱電機株式会社
発明奨励賞	グリス塗布装置および塗布方法	望月 啓司	本田技研工業株式会社
		宮崎 東	
		野末真之助	
発明奨励賞	自動倉庫	豊巻 健太	本田技研工業株式会社
発明奨励賞	複写機に使用される現像剤	黒山 孝一	東芝テック画像情報システム株式会社
発明奨励賞	放射性物質の除染用シート	松野 祐也	新東海製紙株式会社
		須藤 睦己	特種東海製紙株式会社

発 明 奨 励 賞	気流の個別制御を実現する空調機の室内機	代田 光宏	三菱電機株式会社
		福井 智哉	
		山田 彰二	
		迫田 健一	
		加賀 邦彦	
		森 剛	
		道 籐 聡	
		高 守 輝	
		鈴木 仁一	Mitsubishi Electric Consumer Products Thailand Co., Ltd.
		谷川 喜則	三菱電機エンジニアリング株式会社
発 明 奨 励 賞	病院の病室に適したデザインの電子冷蔵庫	山脇 聖嘉	三菱電機エンジニアリング株式会社
		南雲孝太郎	三菱電機株式会社
		飛田真理子	
発 明 奨 励 賞	直感的に操作可能な空調集中コントローラ	櫻井廣一郎	東芝キャリア株式会社
		川合 英充	
		村 田 想	株式会社良品計画
発 明 奨 励 賞	冷暖房混在運転できるマルチ形空調和装置	中村 芳郎	東芝キャリア株式会社
発 明 奨 励 賞	自動車用ハイビーム可変ヘッドランプ	小松 元弘	株式会社小糸製作所

2. 青少年の創造性開発及び育成

①学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会が主催し、静岡県、県教育委員会、関東経済産業局、(公社)発明協会、日本弁理士会、静岡市教育委員会、県市長会、県町村会、(公財)静岡県産業振興財団、各報道機関の後援により、「第68回静岡県学生児童発明くふう展」と「第43回静岡県未来の科学の夢絵画展」を開催した。

展示及び表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止し、賞状については、受賞者の在籍する各学校に送付し、各受賞者に渡すよう依頼した。

県知事賞及び県発明協会会長賞については、県担当者及び県協会会長が各学校を訪問し、賞状を各受賞者に授与した。

ア 第68回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得してもらうとともに、優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	63点	14点
中学生	23点	14点
合 計	86点	28点

上記県展で入選した作品から、小学生9点、中学生9点を第79回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方が受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
入 選	車用固定型おかもち	浜松市立和田小学校	小4	石田 英大

イ 第43回静岡県未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現してもらうとともに、優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数	入選数
小学生	4点	2点
中学生	43点	13点
合計	47点	15点

上記県展で入選した15点を第43回未来の科学の夢絵画展に推薦出品し、次の方が受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
優秀賞	装置着用による人と動物の意思疎通	浜松市立開成中学校	中1	寺田 和音

ウ 後援

児童生徒の創造性開発育成のため、次のとおり後援した。

- 1) 第55回富士市発明くふう展後援
- 2) 第34回島田市小中学生アイデア工作展後援

②児童・生徒におけるものづくり体験の機会創出促進業務（静岡県からの受託事業）

児童・生徒のものづくり体験の場を提供する県内少年少女発明クラブの活動を広く周知し、新たなクラブの設置を促進するため、当協会ホームページにPRページを開設し、保守管理を行った。

3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び独立行政法人工業所有権情報・研修館から受託した産業財産権に関する事業を実施し、知的財産権制度の普及啓発に努めた。

①知的財産活用促進事業（静岡県からの受託事業）

企業の開放特許や大学・研究機関の研究成果である特許技術等を掘り起こし、地域の中小企業等に積極的に技術移転を行った。

実施体制：特許流通アドバイザー 2名（非常勤）

訪問件数は計画値及び前年度実績の2/3程度に留まってしまったが、成約件数は前年度実績を、事業化件数は計画値と前年度実績を上回ることができた。成約の内容は、特許実施許諾契約（専用実施権と不実施補償を含む）、特許を受ける権利の譲渡契約、商標使用許諾契約、意匠実施許諾契約、研究成果有体物の提供に関する契約、特許共同出願契約などである。事業化件数は計画値と前年度実績比を大きく上回ることができた。

活動項目別の実績等数値は下表のとおり。

項目	計画(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (R01年度)
訪問企業件数	490	304	62.0	62.4	487
来訪指導件数	50	76	152.0	135.7	56
マッチング件数	70	70	100.0	93.3	75
成約件数	25	23	92.0	115.0	20
事業化件数	5	8	160.0	133.3	6
講習／講演	47	56	119.0	84.8	66

②特許マッチング事業

大手企業の開放特許を会員企業や地域の中小企業に紹介する知的財産マッチング会を静岡県産業振興財団と共催した。

ア HONDA 知的財産マッチング会

日 時 令和3年3月4日(木)

会 場 静岡県産業経済会館 3階 特別会議室（オンライン併催）
参加企業 本田技研工業株式会社

③知財総合支援窓口運營業務（INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）からの受託事業）

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

ア 支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人事業主、創業予定の個人（以下「中小企業等」という。）を対象として実施した。

イ 実施体制

中部（本部） 3名（常勤1名、非常勤2名）
東部（沼津支所）2名（常勤1名、非常勤1名）
西部（浜松支所）2名（常勤2名）

ウ 知財専門家の活用

窓口支援担当者及び相談対応者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と協働して、窓口での相談支援や中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

(1) 候補者の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士及び産業財産権に関する高度かつ専門的知見を有する知財OBや中小企業診断士等の中から、課題解決に適した人材を選定した。

(2) 活動内容

知財専門家は、窓口支援担当者・相談対応者、支援機関等と十分な打ち合わせ（課題の把握、支援先企業の状況の確認等）を行った上で、事業活動の各段階における様々な課題に対応する解決方法等について適切な指導・助言を行い、解決支援を行った。

エ 支援実績

項 目	目標(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (元年度)
窓口相談受付件数	2,700	2,893	107.1	103.3	2,798
周知活動件数	250	267	106.8	149.1	179
専門家活用件数	270	252	93.3	62.6	402
連携支援件数	270	353	130.7	125.1	282
新規相談件数	405	525	129.6	105.4	498
顧客満足度調査結果	90.0	98.5	109.4	99.1	99.3

オ 電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用者は、48人で、1月当たり約4人が利用している。

職業別では、中小企業の利用が48人中44人と大部分を占めており、地域別では、静岡市20人、島田市6人、焼津市6人、その他となっている。

カ 連携会議の開催状況

支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口運營業務支援機関連携会議を、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第1回は9月に書面にて開催した。

資料を送付した機関は、関東経済産業局、INPIT、静岡県、静岡市、浜松市、沼津市、(公財)静岡県産業振興財団、(公財)浜松地域イノベーション推進機構、(公社)静岡県国際経済振興会、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、(公社)静岡県農業振興公社、日本貿易

振興機構（ジェトロ）静岡貿易情報センター・浜松貿易情報センター、静岡県よろず支援拠点、日本弁理士会東海会静岡県委員会、静岡県警である。各機関には、各々の機関の施策、窓口運営業務の課題についてのアンケートを依頼した。第2回は、2月にWeb会議で開催した。

キ 事業の周知、広報活動の実績

(1) ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、主な支援内容とともに、窓口担当者や支援事例を紹介している。また、連絡先や案内地図も表示できるようにしており、事業の周知に努めた。

(2) 事業内容リーフレット等の作成

見開き A3 のリーフレットを、合計 7,000 部作成、配布した。配布先は、商工会議所、商工会等の支援機関や金融機関等である。

(3) アンケート調査の実施

知財総合支援窓口の利用促進を図るため、支援機関から補助金を受けている企業（ものづくり支援補助金等）を対象としたアンケート調査を実施した。（アンケート送付先 東部地域 699 社、中部地域 469 社、西部地域 642 社、計 1,810 社）

(4) 広告媒体の活用

公益財団法人静岡県産業振興財団が発行している「融資・助成金等の手引き」に知財総合支援窓口の紹介について掲載した。

4. 公報等各種情報提供

① 県内の特許公報等分類別動向調査 (R2.4~R3.3)

区分 (注1)	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
公開特許公報	308	1,022	75	26	70	434	400	322	2,657
特許公報	226	547	60	11	73	297	504	397	2,115
登録実用新案公報	66	28	1	0	15	6	10	2	128
公表特許公報	0	0	0	0	0	1	0	0	1
再公表特許公報 (注2)	37	55	17	4	0	48	87	91	339
合計	637	1,652	153	41	158	786	1,001	812	5,240

(注1) A=生活必需品. B=処理操作・運輸. C=化学及び冶金. D=繊維及び紙
E=固定構造物. F=機械工学・照明・加熱・武器・爆破. G=物理学. H=電気

(注2) PCT (国際特許協力条約) に基づく国際出願の内容を日本語で公表した公報

② 先行技術調査の奨励

特許や実用新案の出願時における事前調査並びに特許審査請求時における事前調査を奨励、実施した。

③ 特許公報類の検索・閲覧サービス

特許情報プラットフォーム (J-PlatPat) を活用した特許情報の検索・閲覧サービスを行った。

5. 知的財産権に係る人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

ア 研究会活動 「産業財産権関連実務研究部会 (通称: パテント部会)」

知財に関する様々な問題が起こらないよう、また企業のビジネスに知財を有効に活用できるよう、どのように知財管理を進めるべきかを探し出すため、企業の中で必要だとされている知財管理に関するテーマを決め、討論形式により進めた。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で5回開催した。
(計画していた10回のうち、5回は中止した。)

回数	月日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	9月16日	勉強会 「『予測できない顕著な効果』が争点となった 「局所的眼科用処方物」事件」 講師：クミアイ化学工業(株) 生田目 雅之 氏	20名	ペガサート
第2回	10月21日	講演 「裁判例を通じての特許発明の進歩性について」 講師：柳田国際法律特許事務所 弁護士・弁理士 清水 節 氏	24名	ペガサート
第3回	11月18日	勉強会 「知財リスクマネジメント ケーススタディ」 ケース① <権利侵害の警告> 警告状にすぐ従う会社？ ケース② <製品企画> 2社からの契約の話 ケース③ <生産委託・技術指導> 社長変われば・・・ 講師：静岡製機(株) 山口 拓也 氏	14名	ペガサート
第4回	2月17日	講演会 「IPランドスケープの基礎と実践法」 講師：(株)知財ランドスケープ C00 AIPE認定 シニア知的財産アナリスト 田中 圭 氏	30名	リモート
第5回	3月17日	講演会 「①80年代以降の特許法改正について」 「②ミャンマーにおける知財法整備の現状と課題」 講師：明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科 教授 熊谷 健一 氏	21名	ペガサート

イ 知的財産活用基本セミナー「知財管理ことはじめ」

参加者のビジネスの内容、企業規模、知財への関わり程度等を考慮して、企業の現状の問題点、課題等を見つけ出し、討論形式により、その企業にふさわしい知財管理を探し出す。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していた4回をすべて中止した。

ウ 知的財産権制度説明会（発明推進協会への協力事業）

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していた2回をいずれも中止とし、オンラインによる開催となった。

6. 会議等

(1)会計監査 令和2年5月15日 当協会

(2)総会 令和2年6月16日 静岡県産業経済会館

(3)理事会 令和2年5月26日 静岡県産業経済会館
令和2年6月16日 静岡県産業経済会館
令和3年3月11日 静岡県産業経済会館

(4)パテント部会幹事会

令和2年5月20日 他11回

(5) 関東地方発明表彰地方選考委員会

令和2年8月28日 新横浜プリンスホテル

(6) 関東地方発明表彰式典

令和2年11月12日 新横浜プリンスホテル

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関東地域発明協会会長懇談会は中止)

7. 各種情報の収集及び提供事業

(1) ホームページによる情報発信

キッズコーナー及び会員入会ページのリニューアル、情報の随時更新、メールマガジンなどにより最新の情報を発信している。

(2) 会報誌による情報発信（「知財情報しずおか」を発行）

令和2年6月1日 2020 VOL.6 No.37

令和2年9月1日 2020 VOL.6 No.38

令和2年12月1日 2020 VOL.6 No.39

令和3年3月1日 2021 VOL.6 No.40

(3) PR活動

全国的に会員が減少している地域発明協会が多い中、積極的なPR活動に努め、毎月Google広告に、当協会のPRと入会案内を掲載した。

8. 弁理士会静岡県委員会へのオブザーバー参加

当協会業務において連携を図る観点から、日本弁理士会東海会静岡県委員会に出席した。

令和2年5月14日 他3回（すべてWEB会議方式による開催）

貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	37,350,374	26,975,013	10,375,361
未収入金	12,499,851	22,629,076	▲ 10,129,225
流動資産合計	49,850,225	49,604,089	246,136
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	7,185,374	6,747,614	437,760
特定資産合計	7,185,374	6,747,614	437,760
(2) その他固定資産			
敷金	134,900	134,900	0
ソフトウェア	222,480	333,720	▲ 111,240
その他固定資産合計	357,380	468,620	▲ 111,240
固定資産合計	7,542,754	7,216,234	326,520
資産合計	57,392,979	56,820,323	572,656
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,180,934	1,540,209	640,725
預り金	987,907	984,523	3,384
未払消費税	1,417,900	1,247,900	170,000
未払法人税等	300,000	2,083,200	▲ 1,783,200
流動負債合計	4,886,741	5,855,832	▲ 969,091
2. 固定負債			
退職給付引当金	7,185,374	6,747,614	437,760
固定負債合計	7,185,374	6,747,614	437,760
負債合計	12,072,115	12,603,446	▲ 531,331
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	45,320,864	44,216,877	1,103,987
負債及び正味財産合計	57,392,979	56,820,323	572,656

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

令和2年4月1日～令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[3,275,000]	[3,422,500]	[▲ 147,500]
法人会員受取会費	2,430,000	2,605,000	▲ 175,000
個人会員受取会費	790,000	762,500	27,500
賛助会員受取会費	55,000	55,000	0
② 事業収益	[55,738,309]	[54,266,832]	[1,471,477]
発明奨励事業収益	400,000	400,000	0
情報サービス複写事業収益	55,890	67,661	▲ 11,771
情報サービス刊行物事業収益	91,060	106,482	▲ 15,422
都道府県受託事業収益	11,600,541	11,269,117	331,424
情報・研修館受託事業収益	43,502,818	42,316,572	1,186,246
特許庁請負事業収益	88,000	107,000	▲ 19,000
③ 受取発明奨励等	[50,000]	[50,000]	[0]
受取表彰発明奨励等	50,000	50,000	0
④ 雑収益	[496,704]	[494,332]	[2,372]
受取利息	1,017	945	72
雑収益	495,687	493,387	2,300
経常収益計	59,560,013	58,233,664	1,326,349
(2) 経常費用			
① 事業費	[53,335,326]	[44,951,846]	[8,383,480]
発明奨励発明展事業費	1,204,540	1,888,951	▲ 684,411
発明奨励表彰式事業費	519,881	605,015	▲ 85,134
発明普及会員管理費	60,837	96,819	▲ 35,982
特許制度普及事業費	900,942	958,223	▲ 57,281
特許情報発信事業費(複写事業)	2,790	7,921	▲ 5,131
特許情報発信事業費(刊行物事業)	60,883	78,918	▲ 18,035
都道府県受託事業費	11,600,541	11,269,117	331,424
情報・研修館受託事業費	38,984,632	30,040,374	8,944,258
特許庁請負事業費	280	6,508	▲ 6,228
② 人件費	[2,618,549]	[2,742,658]	[▲ 124,109]
給料手当	1,466,800	1,615,359	▲ 148,559
法定福利費	672,200	682,094	▲ 9,894
退職給付費用	437,760	423,960	13,800
福利厚生費	41,789	21,245	20,544
③ 事務費	[2,212,151]	[2,636,199]	[▲ 424,048]
水道光熱費	197,929	99,761	98,168
通信費	267,096	387,964	▲ 120,868
運送費	1,390	0	1,390
賃借料	479,100	515,010	▲ 35,910
旅費交通費	4,212	47,980	▲ 43,768
消耗品費	117,082	141,449	▲ 24,367
会議費	177,584	136,077	41,507
支払手数料	424,490	397,834	26,656
諸会費	52,500	52,500	0
租税公課	66,678	114,762	▲ 48,084
保守料	211,200	195,600	15,600
広告宣伝費	101,650	430,860	▲ 329,210
ソフトウェア償却費	111,240	111,240	0
雑費	0	5,162	▲ 5,162
経常費用計	58,166,026	50,330,703	7,835,323
当期経常増減額	1,393,987	7,902,961	▲ 6,508,974

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

令和2年4月1日～令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,393,987	7,902,961	▲ 6,508,974
法人税、住民税及び事業税	290,000	2,000,000	▲ 1,710,000
当期一般正味財産増減額	1,103,987	5,902,961	▲ 4,798,974
一般正味財産期首残高	44,216,877	38,313,916	5,902,961
一般正味財産期末残高	45,320,864	44,216,877	1,103,987
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	45,320,864	44,216,877	1,103,987

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物は定額法）を採用
無形固定資産：定額法を採用
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する退職給与の自己都合要支給額を計上
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	6,747,614	437,760	0	7,185,374
合 計	6,747,614	437,760	0	7,185,374

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	7,185,374	(—)	(—)	(7,185,374)
合 計	7,185,374	(0)	(0)	(7,185,374)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	556,200	333,720	222,480
合 計	556,200	333,720	222,480

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2において記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	6,747,614	437,760	0	0	7,185,374

財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金 静岡銀行 本店 静岡銀行 本店	運転資金として 源泉徴収税等	36,362,467 987,907
	未収金	静岡県 情報・研修館受託事業	知的財産活用促進事業費残額 知財総合支援窓口運営業務	1,270,211 11,229,640
流動資産合計				49,850,225
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	7,185,374
	その他固定資産	敷金 ソフトウェア	東部(沼津支所) 満喜(株) 沼津支所賃貸敷金 会計ソフト	134,900 222,480
固定資産合計				7,542,754
資産合計				57,392,979
(流動負債)	未払金	静岡年金事務所 補助員 相談担当者 流通AD (株)TOKAI他 NTTファイナンス(株) キャノンマーケティングジャパン(株) 登崎哲也 ASKUL サイバーパテント 静岡ビル保善(株)	3月分社会保険料	226,929
			知財総合支援窓口運営業務人件費	127,540
			知財総合支援窓口運営業務人件費	888,800
			知的財産活用促進事業人件費	768,000
			2月3月分プロバイダ料金等	6,039
			3月インターネット回線使用料等	8,382
コピー料金	3,300			
発明クラブwebページ管理費	3,850			
消耗品	5,171			
3月分使用料	27,500			
3月分光熱水費	115,423			
預り金	静岡銀行 本店	源泉徴収税等	987,907	
未払消費税	静岡税務署	2年度消費税	1,417,900	
未払法人税等	静岡税務署	2年度法人税	300,000	
流動負債合計				4,886,741
(固定負債)	退職給付引当金	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	7,185,374
固定負債合計				7,185,374
負債合計				12,072,115
正味財産				45,320,864

監査報告書

令和2年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

令和3年5月11日

監事

石垣

明彦



監事

中村

仁

